

特定設備事故届出状況(エレベーター)

番号	事故発生日	事故の分類	事故状況	建物用途	被害者の年齢層	人数	症状	被害程度	再発防止対策の状況
1	H21 3/16	機械的 トラブル等	扉のがたつきが大きかったため、戸閉確認スイッチが誤作動し、フロアの途中で停止し、段差が発生した。利用者が降りる際、段差に気付かず、つまづき転倒した。	共同住宅	65歳以上	1	頸部 むち打ち	入院不要	不具合箇所（扉のドアシュー）の取替、点検及び調整
2	4/15	扉に 巻き込まれた	扉に手を触れていたために、扉が開く際に巻き込まれた。	官公庁舎	5歳以下	1	右手中薬指 裂傷	入院不要	注意喚起掲示の張替
3	4/25	その他	点検時、落下防止金具の取り付けもれがあったことにより、利用者が乗り込んだ際、照明カバーが落下し、当たった。	共同住宅	65歳以上	1	側頭部等 打撲	入院不要	エレベーターの点検項目に、落下防止金具の取り付け確認を追加。
4	5/26	機械的 トラブル等	機械的不具合により、フロアの途中で停止し、段差が発生した。利用者が降りる際、段差に気付かず、つまづき転倒した。	共同住宅	20～64歳	1	左膝 擦り傷等	入院不要	制御、駆動部分の総点検を実施。また、不具合のあった部品を取り替えた。
5	5/31	閉じ込め	機械的不具合により、エレベーターが到着時に横揺れして停止した。その後、扉が開かず閉じ込められた。	事務所	65歳以上	1	過呼吸	入院不要	制御装置を定期的に分解し、正常を確認するよう管理
6	6/10	扉に衝突 又は接触	扉にぶつかり転倒した。	百貨店	65歳以上	1	後頭部 打撲	入院不要	従来より事故対策を講じている（注意喚起掲示）
7	6/19	扉に挟まれた	車椅子が外扉に挟まれ、扉をこじ開けようとして腕を切った。 （かごの外扉の安全装置が無いところに車椅子の後輪周辺が衝突して、扉が閉まり続け、更に乗り込みに時間を要したため、15秒で自動的に扉が閉まる「ライトレー無効機能」が働いたことが原因と思われる）	複合施設	20～64歳	1	右前腕部 切傷等	入院不要	15秒で自動的に閉まる「ライトレー無効機能」を解除、注意喚起掲示貼付
8	7/12	扉に 巻き込まれた	扉に手を触れていたために、扉が開く際に巻き込まれた。	マーケット	5歳以下	1	指の打撲	入院不要	従来より事故対策を講じている（開閉の際の注意喚起放送、掲示）
9	7/15	その他・不明	犬のリードを扉に挟んだまま、エレベーターが走行したため、目的階に到着する前に安全装置が作動し停止、段差が発生した。降りる際、段差に気付かず転倒した。	共同住宅	20～64歳	1	右腕骨折	3週間未満 の入院	事故についての住民への周知、注意喚起掲示
10	7/16	扉に挟まれた	母親が抱えていた子供の頭が挟まった。	共同住宅	5歳以下	1	頭部打撲	入院不要	従来より事故対策を講じている（注意喚起掲示）
11	7/18	閉じ込め	安全スイッチが作動（原因不明）したため、エレベーターがフロアより1m下で停止し、閉じ込められた。	共同住宅	13～19歳	1	脱水症状	入院不要	点検実施、動作テスト試運転。
12	7/27	扉に 巻き込まれた	扉に手を触れていたために、扉が開く際に巻き込まれた。	マーケット	5歳以下	1	指の打撲	入院不要	緊急点検、注意喚起掲示貼付
13	8/27	扉に 巻き込まれた	扉に手を触れていたために、扉が開く際に巻き込まれた。	共同住宅	5歳以下	1	打撲	入院不要	注意喚起掲示貼付
14	8/27	扉に 巻き込まれた	扉に手を触れていたために、扉が開く際に巻き込まれた。	福社会館	5歳以下	1	擦り傷	入院不要	注意喚起掲示の内容を変更
15	9/7	扉に 巻き込まれた	扉に手を触れていたために、扉が開く際に巻き込まれた。	共同住宅	5歳以下	1	前腕部 打撲等	入院不要	注意喚起掲示貼付

特定設備事故届出状況(エレベーター)

番号	事故 発生日	事故の分類	事故状況	建物 用途	被害者の 年齢層	人数	症状	被害程度	再発防止対策の状況
16	9/10	閉じ込め	ピットに入り込んだねずみが安全装置に巻き込まれ、エレベーターが速度異常を検知し、緊急停止したため、閉じ込められた。	共同住宅	20～64歳	1	腰痛	入院不要	ピット内に入り込んでいたねずみを駆除
17	9/26	扉に衝突 又は接触	閉まりかけた扉に挟まれかけ、ドアが開いた際に転倒し、防火シャッターの柱で頭を打った。	マーケット	65歳以上	1	後頭部打撲	入院不要	注意喚起掲示貼付
18	9/27	扉に 巻き込まれた	扉に手を触れていたために、扉が開く際に巻き込まれた。	共同住宅	5歳以下	1	擦り傷	入院不要	注意喚起掲示貼付
19	11/2	機械的 トラブル等	引越作業中の偏荷重により、かごと昇降路内の配線が接触し停止。その際の衝撃により頸椎を捻挫した。	共同住宅	20～64歳	1	頸椎捻挫	入院不要	昇降路内配線固定金具の手直し等を行うとともに、再発防止のため点検の強化を図る
20	H22 2/25	扉に挟まれた	閉まりかけた扉に腕を差し入れたが、安全装置まで届いていなかったため、扉が反転せずそのまま挟まれた。	事務所	20～64歳	1	右手打撲	入院不要	注意喚起掲示貼付
21	3/2	扉に巻き込ま れた	扉に手を触れていたために、扉が開く際に巻き込まれた。	共同住宅	5歳以下	1	指の打撲	入院不要	入居者向け回覧による注意喚起